



第57回卒業式 6年生の巣立ち

6年生149名が、立派に卒業しました。第57回生の入学式は、国全体が「新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業」となったため、各家庭1名のみのご臨席という制限の中で行われ、不安いっぱい始まりとなりました。それから分散登校、制限のある教育活動、通常の教育活動へという道のりの中にいた子どもたち。制限がなくなってからは、マスクを外して笑い合い、頭を突き合わせて考え合う、そのような本来の学校の中で過ごすことができました。失われた日々を取り戻すかのように様々な経験を、大勢の方々に見守られ、無事に卒業式を迎えることができましたことに、心から嬉しく思います。これまでの過程には、本校に関わる全ての皆様のお力添えがあり、そのおかげと感謝しております。ありがとうございます。



式辞の中で、卒業生へのメッセージとして伝えました。

自分の道は 自分で選び 自分で決めること

だれかに言われたからではなく 自ら考え 決めて進むとき 発揮されるのが本当の力
道しるべとなるのは「好き」「やってみたい」という気持ち
迷うことや うまくいかないときは 仲間 家族 先生たちの力をかりながら
また考え また決めて 前に進んでいけばいい

「つよく ゆたかに 伸びゆく子」

まっすぐ伸びる笹のように 高い理想へ ひろい未来へ 明日の世界へ
自信と誇りをもって 伸び続けてください



一人ひとりの表情には、次のステージへと羽ばたく覚悟が表れていました。

あらためて、149名の卒業生の輝かしい未来に、心からの祝福とエールを贈ります。おめでとうございます。

修了式を迎えて



1年生から5年生は、本日、当該学年の課程を修了する「修了式」を迎えました。

今年度は、生活習慣が学習や心身の健康につながるという考えのもと、様々な取り組みを行ってまいりました。その結果、挨拶のできる子が増え、朝から運動場に元気な声が響き、どのクラスも給食をよく食べ、「ささっけんこうプロジェクト」を通して、睡眠への意識をもつこと等の姿が見られるようになってきています。また、毎日2年生以上のクラスでタブレットを使って「心の健康観察」にも取り組みました。心の内をお天気とコメントで知らせてくれたおかげで、早期に悩みや困り感への対応へとつながることもありました。そして、今年度から試行しました、通知表の2期制についても、おかげさまで、各学期末の教職員と子どもたちの時間確保と授業進行へのゆとりにつながりました。

地域の皆様も「笹ポーター」として、子どもたちの見守りや読書活動、環境整備や教育活動へのサポート等、「ともに子どもたちを育てる。」という気持ちで関わっていただきました。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございます。

4月には新しい1年生を迎え、進級した子どもたちと出会うために、準備をしてまいります。